() 千葉窯業株式会社

ちばようぎょう



				TEL
<東京都·神奈川県>	東京支店	₹103-0004	中央区東日本橋2-23-3	03-5835-0981
<千葉県>	千葉営業所	T260-8666	千葉市中央区市場町3-1	043-221-7000
	本社営業所	T289-1732	山武郡横芝光町横芝1092	0479-82-1121
	東葛営業所	₹277-0841	柏市あけぼの4-2-21	04-7143-6851
	木更津営業所	T292-0805	木更津市大和3-4-25	0438-25-4661
<茨城県>	水戸営業所	T310-0803	水戸市城南2-15-16	029-224-1731
	つくば営業所	₹305-0034	つくば市小野崎131-1	029-855-6611
	茨城営業所	₹300-0736	稲敷市八千石720	0299-79-1211
<埼玉県>	埼玉営業所	T331-0812	さいたま市北区宮原町3-308-1	048-661-6411
<栃木県>	栃木営業所	T322-0301	鹿沼市北半田2008	0289-75-4641
<群馬県>	群馬営業所	₹371-0831	前橋市小相木町520-1	027-254-3651
<長野県>	長野営業所	T385-0025	佐久市塚原900	0267-68-1101
<東北>	東北営業所	T984-0816	仙台市若林区河原町2-5-36	022-266-7651
<中部·関西>	中部支社	₹470-0451	愛知県豊田市藤岡飯野町五釜1168-1	0565-76-4121
	名古屋営業所	₹453-0851	名古屋市中村区畑江通9-38-1	052-481-3651
<技術>	技術部	₹260-8666	千葉市中央区市場町3-1	043-221-3471
<工場>	本社工場	₸289-1732	千葉県山武郡横芝光町横芝1092	0479-82-1121
	本社第2工場	₹289-1732	千葉県山武郡横芝光町横芝995	0479-82-8881
	茨城工場	₹300-0736	茨城県稲敷市八千石720	0299-79-1211
	東関東工場	T300-0511	茨城県稲敷市高田3657	029-892-2591
	栃木工場	T322-0301	栃木県鹿沼市北半田2008	0289-75-4641
	PS工場	₹289-1741	千葉県山武郡横芝光町中台650	0479-82-7777
	愛知工場	₹470-0451	愛知県豊田市藤岡飯野町五釜1168-1	0565-76-4121

ネットワーク

<東北>	池田東北株式会社			
	本社	₹969-0401	福島県岩瀬郡鏡石町境180	0248-62-5155
	仙台事業部	₹981-3521	宮城県黒川郡大郷町中村大沢 1	022-359-2511
<中国·四国·九州>	東洋ヒューム管株式会社	:		
	本社	7 754-1193	山口県山口市秋穂東3502	083-984-2021
	萩営業所	7 758-0011	山口県萩市大字椿東2531-1	0838-24-2221
	下関営業所	₹751-0875	山口県下関市秋根本町2-10-10-406	083-249-5351
	防府営業所	₹747-0809	山口県防府市寿町1-8 赤間ビル202号	0835-26-6771
	広島事業部	₹729-1211	広島県三原市大和町大草20932	0847-33-1155
	広島営業所	₹732-0053	広島県広島市東区若草町10-12日宝若草ビル3F	082-261-1301
	福山営業所	₹720-0041	広島県福山市寺町6-3	084-928-9751

宅地造成等規制法施行令第14条 国土交通大臣認定擁壁

CLP-VII

大地震対応型L型擁壁



() 千葉窯業株式会社

ちばようぎょう

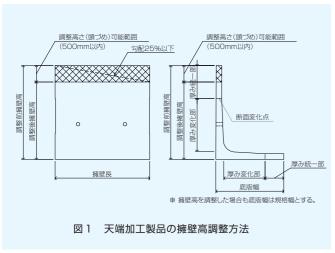


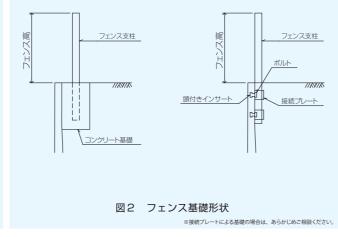
CLP-VII(大地震対応型)は、 大地震(水平震度Kh=0.25)に 対応した宅地用L型擁壁です。



特徴

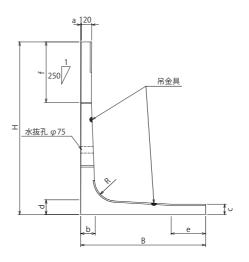
- ●国土交通大臣認定(宅地造成等規制法施行令第14条)を取得しているので、 認定条件内であれば、計画から認可まで手続きも簡素化できます。
- ●直線部及びコーナー部製品共に、大地震対応(Kh=0.25)の国土交通大臣認定製品です。
- ●コーナー部の角度を $90^{\circ} \le \theta < 180^{\circ}$ まで自由に設計できます。
- ●前面に表面模様(デザイン)を施すことができます。(厚さ50mmまで)
- ●直線部の擁壁長さはL=1.0mまで短くすることができます。
- ●擁壁天端の加工も可能です。(図1天端加工製品の擁壁高調整方法を参照)
- ■認定条件の範囲内であれば、たて壁背面側にフェンスを取付けることができます。 (図2 参照)



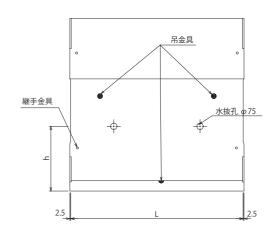


CLP-VII(大地震対応型)(直線部)形状·寸法表

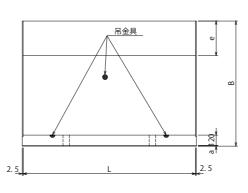
側面図



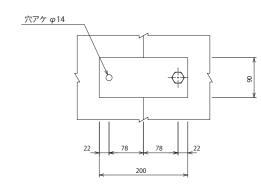
背面図

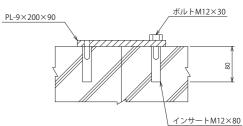


平面図



継手金具詳細図





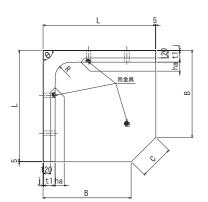
呼び名					寸法表	(mm)						製品質量
一 叶() 石	H	В	L	a	b	С	d	е	f	h	R	(kg)
H1000	1,000	750	2,000	4	130	110	130	250	500	600	150	960
H1250	1,250	900	2,000	5	130	110	130	250	500	600	150	1,200
H1500	1,500	1,050	2,000	6	145	110	145	250	500	750	200	1,510
H1750	1,750	1,250	2,000	7	155	120	155	350	700	750	200	1,850
H2000	2,000	1,450	2,000	8	170	120	170	400	700	750	250	2,240
H2250	2,250	1,650	2,000	9	190	120	190	500	700	750	250	2,660
H2500	2,500	1,800	2,000	10	215	120	215	550	900	800	300	3,100
H2750	2,750	2,050	2,000	11	240	120	240	650	900	850	350	3,690
H3000	3,000	2,150	2,000	12	270	120	270	600	900	900	400	4,290

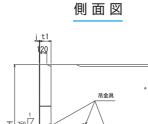
- ※1:たて壁前面に施すことができるデザイン(模様)の厚さは、最大50mmです。
- ※2:吊り具は、メーカー指定のものを使用してください。
- ※3:呼び名の高さを中間高さとして使用する場合は、直近上位の予備なの擁壁高さを頭づめして準用できます。

CLP-VII(大地震対応型)(コーナー部) H1000、H1250、H1500、1750、2000、2250寸法表

コーナー角度:90°≦*8*<135°

平面図

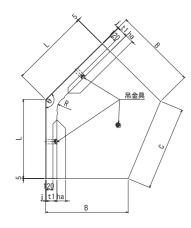




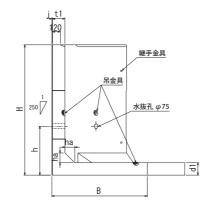
呼び名	日 (コーナー角度)	Н	В	L	t1	d1	h	j	ha	R	С
H1000-90	90°	1,000	750	1,300	145	145	600	4	120	200	785
H1250-90	90°	1,250	900	1,300	145	145	600	5	120	200	573
H1500-90	90°	1,500	1,050	1,300	145	145	750	6	120	200	361
H1750-90	90°	1,750	1,300	1,850	190	190	750	7	150	250	785
H2000-90	90°	2,000	1,450	1,850	190	190	750	8	150	250	573
H2250-90	90°	2,250	1,650	1,850	190	190	750	9	150	250	290

コーナー角度:135°≦*θ*<180°

平面図



側面図

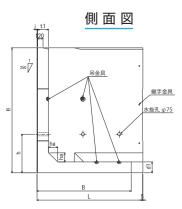


呼び名	θ (コーナー角度)	Н	В	L	t1	d1	h	j	ha	R	С
H1000-135	135°	1,000	750	1,300	145	145	600	4	120	200	1,837
H1250-135	135°	1,250	900	1,300	145	145	600	5	120	200	1,722
H1500-135	135°	1,500	1,050	1,300	145	145	750	6	120	200	1,608
H1750-135	135°	1,750	1,300	1,400	190	190	750	7	150	250	1,601
H2000-135	135°	2,000	1,450	1,400	190	190	750	8	150	250	1,486
H2250-135	135°	2,250	1,650	1,400	190	190	750	9	150	250	1,333

^{※1:}上記表に表記しているC寸法と製品重量は、コーナー角度が135°の製品を表記しています。 (角度が変われば、C寸法及び製品重量は変わります。)

CLP-VI(大地震対応型)(コーナー部) H2500、H2750、H3000寸法表

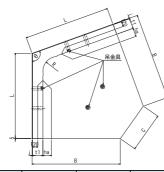
コーナー角度:90°≦*0*<110°

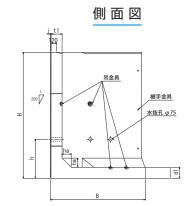


呼び名	り (コーナー角度)	Н	В	L	t1	d1	h	j	ha	R	С
H2500-90	90°	2,500	1,850	2,300	240	240	800	10	200	350	643
H2750-90	90°	2,750	2,050	2,300	240	240	850	11	200	350	361
H3000-90	90°	3,000	2,200	2,300	240	240	900	12	200	350	148

コーナー角度:110°≦8<135°

平面図

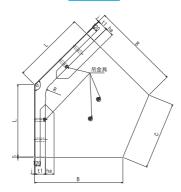


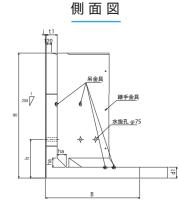


呼び名	り (コーナー角度)	Н	В	L	t1	d1	h	j	ha	R	С
H2500-110	110°	2,500	1,850	2,000	240	240	800	10	200	350	1,163
H2750-110	110°	2,750	2,050	2,000	240	240	850	11	200	350	933
H3000-110	110°	3,000	2,200	2,000	240	240	900	12	200	350	761

コーナー角度:135°≦*8*<180°

平面図





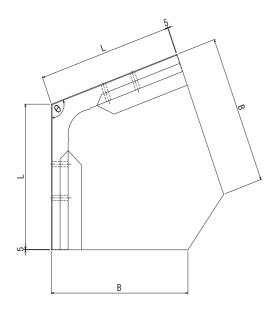
呼び名	<i>θ</i> (コーナー角度)	Н	В	L	t1	d1	h	j	ha	R	C
H2500-135	135°	2,500	1,850	1,700	240	240	800	10	200	350	1,735
H2750-135	135°	2,750	2,050	1,700	240	240	850	11	200	350	1,581
H3000-135	135°	3,000	2,200	1,700	240	240	900	12	200	350	1,467

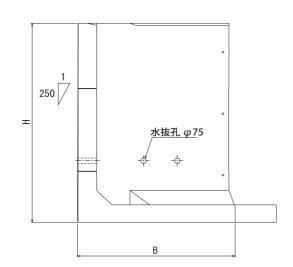
^{※1:}上記表に表記しているC寸法と製品重量は、コーナー角度が135°の製品を表記しています。 (角度が変われば、C寸法及び製品重量は変わります。)

CLP-VII(大地震対応型)(コーナー部)角度の参考質量表

平面図

側面図





H1000~H1500タイプ

(kg)

呼び名	擁	壁寸法(m	nm)			コーナータ	角度 (θ°)		
ずり石	Н	В	L	90°	105°	120°	135°	150°	170°
H1000	1,000	750	1,300	1,297	1,362	1,428	1,493	1,494	1,496
H1250	1,250	900	1,300	1,546	1,633	1,720	1,808	1,825	1,848
H1500	1,500	1,050	1,300	1,789	1,899	2,009	2,118	2,150	2,191

H1750~H2250タイプ

(kg)

	呼び名	擁	壁寸法(n	nm)	コーナー角度 (θ°)						
	叶〇石	Н	В	L	90°	105°	120°	134°	135°	150°	170°
Г	H1750	1,750	1,300	1,850	4,086	4,333	4,579	4,826	-	-	-
Г	H2000	2,000	1,450	1,850	4,540	4,823	5,107	5,391	-	-	-
	H2250	2,250	1,650	1,850	4,990	5,326	5,662	5,997	-	-	-
	H1750	1,750	1,300	1,400	-	-	-	-	3,452	3,544	3,667
	H2000	2,000	1,450	1,400	-	-	-	-	3,872	3,995	4,159
	H2250	2,250	1,650	1,400	-	-	1	-	4,316	4,485	4,710

[※]角度区分により、L寸法が変わります。

H2500~H3000タイプ

(kg)

呼び名	擁	壁寸法(n	nm)		_	コーナー角度 (θ°)						
竹〇石	Н	В	L	90°	109°	110°	134°	135°	150°	170°		
H2500	2,500	1,850	2,300	8,919	9,804	-	-	-	-	-		
H2750	2,750	2,050	2,300	9,624	10,595	-	-	-	-	-		
H3000	3,000	2,200	2,300	10,308	11,353	-	-	-	-	-		
H2500	2,500	1,850	2,000	-	-	8,187	9,016	-	-	-		
H2750	2,750	2,050	2,000	-	-	8,866	9,816	-	-	-		
H3000	3,000	2,200	2,000	-	-	9,509	10,563	-	-	-		
H2500	2,500	1,850	1,700	-	-	-	-	7,410	7,677	8,032		
H2750	2,750	2,050	1,700	-	-	-	-	8,083	8,420	8,869		
H3000	3,000	2,200	1,700	-	-	-	-	8,705	9,101	9,629		

[※]角度区分により、L寸法が変わります。

CLP-VII(大地震対応型)設計条件

積載荷重

●等分布荷重 q=10.0kN/ m^{*}

裏込土

●単位体積重量 γs=16~19kN/ m³

●内部摩擦角 Φ=25°以上

●擁壁背面の地表面角度 O°(水平)

地震時 設計水平震度

●大地震 Kh=0.250

基礎地盤

●基礎地盤と擁壁底面との摩擦係数 μ =tanΦ ただし、 μ >0.6 の場合 μ =0.6 とする。

●必要根入れ深さ 岩盤に設置する場合を除き次の通りとする

内部摩擦角Φが 25°以上 Df=45 cm以上かつ擁壁の高さの 20/100 以上

●必要許容応力度 P.9 基礎地盤に必要な許容応力度表による

フェンス荷重 擁壁天端より、Hf の位置に Pf の荷重が作用するものとする。

●作用位置 Hf=1.10m ●作用荷重 Pf=1.00kN/m

●設置可能フェンス高 地表面粗度区分及び各地域の基準風速による。(P.14 参照)

(基準風速は告示平 12年5月31日建設省告示第 1454号による)

荷重の組合せ

荷重	常時	地震時	フェンス荷重時
1) 自重(底版上の裏込め土重量を含む)	0	0	0
2) 載荷重 (q=10kN/ m)	0	0	0
3) 常時主働土圧	0	_	0
4) 地震時主働土圧	_	0	_
5) 慣性力	_	0	_
6) 地震時受働土圧	_	0	_
7) フェンス荷重(Hh=1.0kN/m)	_	_	0

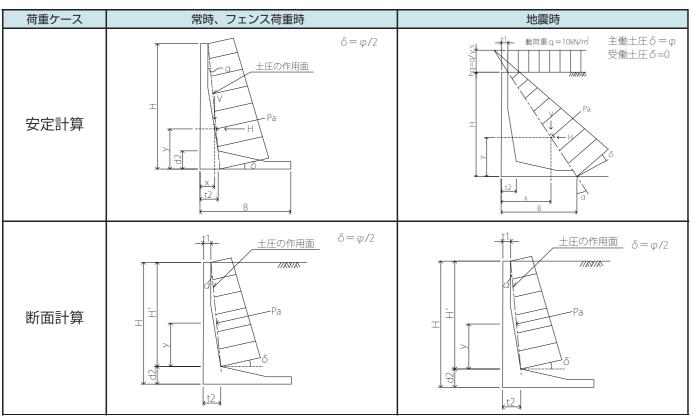
CLP-VII(大地震対応型)設計条件

土圧及び土圧の作用面

● 常時(常時) 〔主働土圧: クーロン土圧式〕

〔主働土圧(受働土圧):物部・岡部の式〕 ● 地震時(短期)

● フェンス荷重時(短期) 〔主働土圧:クーロン土圧式〕



安全率

	項目	長期	短期				
,	タロ ロー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	常時	フェンス荷重時	地震時			
安定計算	地盤反力度	常時許容支持力度以下 (極限支持力度1/3以下)	フェンス荷重時許容支持力度以下 (極限支持力度2/3以下)	地震時許容支持力度以下 (極限支持力度以下)			
女化司异	転倒	1.5以上	1.0以上				
	滑動	1.5以上	1.0以上				
	モーメント	1.0以上	1.0以上				
部材計算	せん断力	1.0以上					
	付着	-	1.0以上				

		終局時部材計算
終局	モーメント	3.0以上
心心	付着割裂	1.0以上

部材計算許容応力度

				(IN/IIIIII)	
コン	ノクリート	常時	地震時 フェンス荷雪		
	圧縮	10	2	0	
設計基準強度	せん断	0.79	1.	19	
Fc=30	付着	-	2.55	-	
	付着割裂	-	1.32※1	-	

※1:付着割裂の値は、付着割裂基準強度を示す。

(N/mm^2)

				(14/111111
鱼	失筋	常時	地震時	フェンス荷重時
SD295A	引張	195	29	95
SD345	破壊 (終局)	395※2	-	-

※2:(公社)全国宅地擁壁技術協会基準値

基礎地盤に必要な許容応力度(必要地耐力)

(1)直線部

許容応力度(直線部)

(単位:kN/m²)

# 手	前壁				擁壁	の高さ	(m)			
荷重 条件	デザイン の有無	1.00	1.25	1.50	1.75	2.00	2.25	2.50	2.75	3.00
常時	無	65	79	93	101	109	118	131	137	154
市吋	有	75	90	104	111	119	128	141	146	163
フェンス	無	105	106	114	115	120	127	139	143	159
荷重時	有	126	122	128	127	131	137	149	152	169
地震時	無	103	125	147	155	165	175	194	197	222
地展时	有	118	142	165	171	179	188	207	209	235

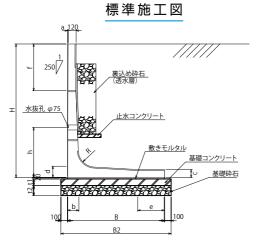
[※]短尺製品の場合は、上表の値を使用してよい。

(2)コーナー部

其礎地般の許容広力度 (コーナー部)

			基礎地	盤の許容	応力度	(コーナ-	-部)			(単位	立:kN/m²)
荷重	前壁 デザイン	コーナー				擁壁	の高さ(m	1)			
条件	の有無	対応角度	1.00	1.25	1.50	1.75	2.00	2.25	2.50	2.75	3.00
	árr.	90°≦ <i>θ</i> < 135°	59	76	100	94	115	138	-	1	_
		90°≦ <i>θ</i> < 110°	_	_	_	_	_	_	135	157	185
	無	110°≦ <i>θ</i> < 135°	_	_	_	_	_	_	135	152	174
常時		135°≦ <i>θ</i> < 180°	65	79	93	101	112	125	131	143	159
市吋		90°≦ <i>θ</i> < 135°	66	86	112	104	126	151	_	_	_
	有	90°≦ <i>θ</i> < 110°	-	_	_	_	1	1	146	170	200
	1	110°≦ <i>θ</i> < 135°	-	_	_	_	-	-	145	163	186
		135°≦ <i>θ</i> < 180°	75	90	104	111	121	134	141	152	168
		90°≦ <i>θ</i> < 135°	79	94	122	105	126	151	-	-	_
	無	90°≦ <i>θ</i> < 110°	-	_	_	_	-	1	143	166	196
	Ж	110°≦ <i>θ</i> < 135°	-	_	_	_	1	1	143	161	184
フェンス		135°≦ <i>θ</i> < 180°	105	106	114	115	123	135	139	150	166
荷重時		90°≦ <i>θ</i> < 135°	87	106	136	115	138	166	_	_	_
	有	90°≦ <i>θ</i> < 110°	-	_	_	_	-	1	155	179	211
	1	110°≦ <i>θ</i> < 135°	1	_	_	_	1	1	153	172	197
		135°≦ <i>θ</i> < 180°	126	122	128	127	133	146	149	160	176
		90°≦ <i>θ</i> < 135°	104	131	156	154	176	189	-	-	_
	400.	90°≦ <i>θ</i> < 110°	-	_	_	_	-	1	192	206	225
	無	110°≦ <i>θ</i> < 135°	-	_	_	_	1	1	200	212	231
地震時		135°≦ <i>θ</i> < 180°	110	135	159	155	176	187	199	210	229
地農吋		90°≦ <i>θ</i> < 135°	116	145	171	165	189	201	_	_	_
	=	90°≦ <i>θ</i> < 110°	_	-	-	-	_	_	204	218	238
	有	110°≦ <i>θ</i> < 135°	_	-	-	-	_	_	211	223	243
		135°≦ <i>θ</i> < 180°	118	149	175	171	189	200	211	222	241

標準施工例

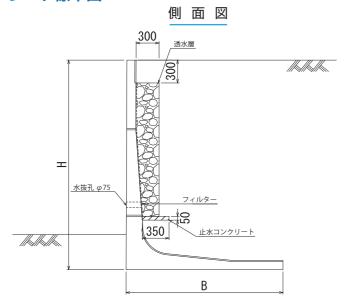


			寸	法	<u>.</u>	表		*!	単位に	‡ <mr< th=""><th>m></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>材 料</th><th>表</th><th></th><th>(10m当り)</th></mr<>	m>					材 料	表		(10m当り)
	Н	В	L	a	b	С	d	е	f	h	R	t1 (m)	t2 (m)	B2 (m)	使用枚数 (枚)	基礎コンクリート (m³)	基礎砕石 (m²)	敷きモルタル (m³)	基礎型枠 (m²)
H1000	1000	750	2000	4	130		130			600	150			0.95	5.00	0.475	9.500	0.150	1.000
H1250	1250	900	2000	5	130	110		250	500	000	130	ll	0.20	1.10	5.00	0.550	11.000	0.180	1.000
H1500	1500	1050	2000	6	145		145				200		0.20	1.25	5.00	0.625	12.500	0.210	1.000
H1750	1750	1250	2000	7	155		155	350		750	200			1.45	5.00	0.725	14.500	0.250	1.000
H2000	2000	1450	2000	8	170		170	400	700	/30	250			1.65	5.00	1.650	16.500	0.290	2.000
H2250	2250	1650	2000	9	190	120	190	500			230			1.85	5.00	1.850	18.500	0.330	2.000
H2500	2500	1800	2000	10	215	120	215	550		800	300	0.10	0.25	2.00	5.00	2.000	20.000	0.360	2.000
H2750	2750	2050	2000	11	240		240	650	900	850	350			2.25	5.00	2.250	22.500	0.410	2.000
H3000	3000	2150	2000	12	270		270	600		900	400			2.35	5.00	2.350	23.500	0.430	2.000

^{※1} 透水層として、砂利等の代わりに透水マットも使用できます。その場合は、「擁壁用透水マット技術マニュアル (平成9年6月) 建設省建設経済局民間宅地 指導室監修 ((社) 全国宅地擁壁技術協会)」に準拠したものをご使用下さい。

※2 基礎コンクリート及び基礎砕石等の厚さは、現地の状況によりご検討ください。

透水層及び止水コンクリート標準図



10m当り

7	大臣認定擁壁寸	法		材料数量	
(H)	(B)	(L)	製品本数	透水層用砕石	止水コンクリート
1,000	750	2,000	5本	0.75m ³	0.18m ³
1,250	900	2,000	5本	1.51m ³	0.18m ³
1,500	1,050	2,000	5本	2.23m ³	0.18m ³
1,750	1,250	2,000	5本	2.82m ³	0.18m ³
2,000	1,450	2,000	5本	3.37m ³	0.18m ³
2,250	1,650	2,000	5本	4.01m ³	0.18m ³
2,500	1,800	2,000	5本	4.53m ³	0.18m ³
2,750	2,050	2,000	5本	4.84m ³	0.18m ³
3,000	2,150	2,000	5本	5.21m ³	0.18m ³

CLP-VII(大地震対応型)歩掛表

歩掛および材料表

歩]	卦および材	料表											(1	.0m当り)
		名 称			単位					呼び名				
	н 19		# 14	1000	1250	1500	1750	2000	2250	2500	2750	3000		
	擁 壁	高	:	Н	m	1.00	1.25	1.50	1.75	2.00	2.25	2.50	2.75	3.00
	底 版	幅	:	В	m	0.75	0.90	1.05	1.25	1.45	1.65	1.80	2.05	2.15
	製品	長	:	L	m	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
	製品	考	質	量	t	0.96	1.20	1.51	1.85	2.24	2.66	3.10	3.69	4.29
	CLP-VI	(大地震	対応型)		個	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
	基礎砕石厚				mm	200	200	200	200	250	250	250	250	250
	基礎砕石				m ³	1.90	2.20	2.50	2.90	4.13	4.63	5.00	5.63	5.88
	(基礎砕石工)				m ²	9.50	11.00	12.50	14.50	16.50	18.50	20.00	22.50	23.50
使	均しコンクリート原	孠			mm	50	50	50	50	100	100	100	100	100
用 材	均しコンクリート				m ³	0.48	0.55	0.63	0.73	1.65	1.85	2.00	2.25	2.35
料	均しコンクリート型	型枠			m ²	1.00	1.00	1.00	1.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
	敷モルタル(t=2	0mm)			m ³	0.15	0.18	0.21	0.25	0.29	0.33	0.36	0.41	0.43
	止水コンクリート	(t=50m	m)		m ³	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18
	透水層(裏込砕	石)			m ³	0.75	1.51	2.23	2.82	3.37	4.01	4.53	4.84	5.21
	フィルター(吸出	防止材)			m ²	0.65	0.90	1.15	1.35	1.55	1.80	2.00	2.16	2.36
	世話役				人	0.30		0.3	38			0.4	15	
	ブロックエ				人	0.30		0.3	38			0.4	15	
設	普通作業員				人	0.91		1.1	15			1.3	36	
^双 置 歩 掛	グレーン機能付 バックホウ運転 山積0.8m³(平積0.6m³) 日		日	0.30		_	_		_					
121	ラフテレーン クレーン賃料 油圧伸縮ジブ型25t吊			铞	日	_		0.3	38			0.4	15	
	諸雑費率				%	16		1	8			2	0	

- (注) 1) 本歩掛は、国土交通省土木工事積算基準(平成24および29年度版)ープレキャスト擁壁工による。
 - 2) 本歩掛で対象としている製品は、1ブロックを1部材で構成するプレキャスト擁壁である。なお製品天端を斜めにカットしたタイプを含む。
 - 3) 歩掛は,運搬距離10m程度までの現場内小運搬を含むものであり,床掘,基礎(基礎砕石,均しコンクリート),裏込砕石,埋戻し,残土処理は含まない。
 - 4) バックホウおよびラフテレーンクレーンは賃料とし、規格は上表を標準とする。現場条件により上表により難い場合は、別途考慮する。
 - 5) ラフテレーンクレーンは賃料とし、規格は上表を標準とする。現場条件により上表により難い場合は、別途考慮する。
 - 6) 諸雑費は、敷モルタル・目地モルタル・排水材等の材料費であり、労務費、賃料および機械運転経費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。
 - 7) バックホウ運転単価(1日当り)は、下表により算出する。

バックホウ規格	名 称	単 位	数量
バックホウ(クレーン機能付)	運転手(特殊)	人	1.00
山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	燃料費(軽油)	リットル	76
2.9t吊	バックホウ賃料	供用日	1.45

築造仕様

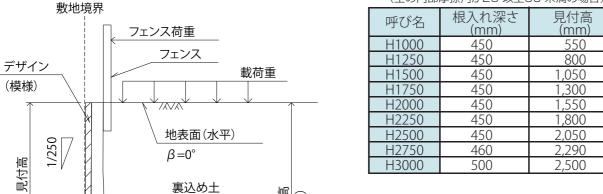
CLP-VII(大地震対応型)の構造にあたっては、擁壁背面及び基礎地盤の土質条件により本擁 壁(CLP-VII(大地震対応型))の適用の可否や施工方法等が異なるので、施工場所の土質条 件を十分把握して認定条件に適合したものであることをご確認ください。

1. 根入れ深さについて

擁壁の必要根入れ深さは、宅地造成等規制法施行令第8条第4項に則り、擁壁を岩盤に接着して設置する場合を除き、下表の通り としてください。

基礎地盤の土質	根入れ深さ
土の内部摩擦角度が25°以上30°未満	45cm以上かつ擁壁見付高の20/100以上
土の内部摩擦角度が30°以上	35cm以上かつ擁壁見付高の15/100以上

根入れ深さ寸法 (土の内部摩擦角が25°以上30°未満の場合)



根入れ深さ寸法

(土の内部摩擦角が30°以上の場合)

呼び名	根入れ深さ (mm)	見付高 (mm)
H1000	350	650
H1250	350	900
H1500	350	1,150
H1750	350	1,400
H2000	350	1,650
H2250	350	1,900
H2500	350	2,150
H2750	360	2,390
H3000	400	2,600

2. 前壁勾配について

製品の前壁には、垂直に対したわみ想定勾配があるので配慮して施工してください。

底版幅

底版

3. コーナー部の対応について

コーナー部の施工は、認定範囲内のコーナー製品が使用可能な個所については、コーナー製品を使用し、それ以外の箇所は、「宅地防 災マニュアルの解説[I]」に従って現場打ち構造としてください。

基礎地盤

4. 基礎について

基礎は、直接基礎を原則としています。但し、基礎地盤の許容応力度が不足したり、部分的に基礎地盤が悪い場合には、許容応 力度を確保できるように地盤改良、杭基礎等の基礎構造を適切に選定してください。

5. 敷きモルタルについて

基礎コンクリート上面と擁壁底面との間にすき間が生じないように、厚さ2cm程度の空練モルタル(セメント1:砂3)を均等に敷きなら してください。

6. フィルター材について

擁壁背面の土砂が、目地及び水抜孔から流出することを防止するために、耐食性の吸出し防止フィルターをテープ等によって各 水抜孔の周辺部分と排水用目地の部分に貼り付けてください。

7. 透水層について

たて壁の背面には砂利等を全面に施した透水層を設置してください。また、浸透水を有効に排水するために、透水層の最下端部 分に厚さ5cm以上で、幅35cm以上の止水コンクリートを全長にわたって設置してください。

透水層は、砂利等の材料を用いてフィルターが剥落しないよう、擁壁の背面に慎重に施工してください。

透水層として、砂利等の代わりに透水マットを使用することもできます。その場合は、建設省経民発第22号、建設省住指発第 138号による「擁壁用透水マット技術マニュアル(平成9年6月)(公社)全国宅地擁壁技術協会 | に準拠してください。

8. 埋戻し等について

埋戻し土は、各層毎にローラーその他これに類する建設機械を用いて均一に所定の密度となるよう締固め、機械の走行または、 偏心荷重により擁壁が損傷を受けないように注意してください。また、雨水、地表面水の排水には十分配慮し、埋戻し土の沈下を 見込んだ余盛以上の土羽を設けないでください。

高さの規格が異なる製品間やコーナー部と直線部間においてプレートによる連結ができない箇所が生じることがあります。 この場合、埋戻しの時の転圧等により製品のずれが生じないよう十分に注意してください。

9. フェンスの設置について

フェンスを設置する場合は、図2フェンス基礎形状に示す通り、コンクリート基礎か接続プレートによる基礎が選択できます。 接続プレートによる基礎を選択する場合には、フェンス基礎の接続プレートや設置条件等が決まっておりますので、CLP-VII(大 地震対応型)の築造仕様書をご確認いただくか、営業等にご相談ください。

フェンスの支柱間隔は、2m以下でフェンスにかかる風圧力が1kN/m以下としてください。

以上のほか、築造に関する諸条件は、CLP-VII (大地震対応型) 築造仕様書をご確認ください。





フェンスの地域による設置可能なフェンス高さ、見付面積率

本擁壁に設置できるフェンス高さは、下記の平成12年5月31日建設省告示第1454号に示された地表面粗度区分 の選定により選定できます。なお、地表面粗度区分については各自治体にご確認ください。

また、フェンス高さの選定に使用する風速は、平成12年5月31日建設省告示第1454号に示された地域の風速を 使用して下さい。

平成12年5月31日建設省告示第1454号に示された地表面粗度区分

	地表面粗度区分	Zb (単位m)	ZG (単位m)	а
- 1	都市計画区域外にあって、極めて平坦で障害物がないものとして特定行政庁が規制で定める区域	5	250	0.10
II	都市計画区域外にあって地表面粗度区分 I の区域以外の区域(建築物の高さが 13 m以下の場合を除く。)又は都市計画区域内にあって地表面粗度区分 IV の区分以外の区域のうち、海岸線又は湖岸線(対岸までの距離が 1,500m以上のものに限る。以下同じ。)までの距離が 500m以内の地域(ただし、建築物の高さが 13m以下である場合又は当該海岸線若しくは湖岸線からの距離が 200mを超え、かつ、建築の高さが 31m以下である場合を除く。)	5	350	0.15
III	地表面粗度区分 , 又は 以外の区域	5	450	0.20
IV	都市計画区域内にあって、都市化が極めて著しいものとして特定行政庁が規制で 定める区域	10	550	0.27

H 建物の高さと軒の高さとの平均 (単位m)

平成12年5月31日建設省告示第1454号に示された地域別の風速

(1)	(2)から(9)まで掲げる地方以外の地方
,	北海道のうち
	利原市 小場市 搬走市 福寺市 権内市 江別市 紋別市 名布市 千竜市 遊館市 北瓜島市 石府市 石府郡 原田郎 法結都 空地間の5ち南側町 70部のうち由 可及び長石町 上川部の55風側町及び下川町 中川部の55束運町 音板子有材及5 中川町 雑年部 留荷部 石前部 天地郡 完合器 校寿館 秋江郡 内沼部 横走部 の55東海等村 女瀬舎町及び美御町 斜里都の55瀬里町及り「木竹町 常尼郡の5 地間町、佐里田町及び「米町町 製御の55末間、海側町、海町、南田部村田 び加渡町 美払都の55級分町及び後別町 沙走廊の55平町町 新冠郡 静内郡 三 石閣 浦河郡 移投収 領規郡 伊邦の55厚押町 川上郡
	岩手県のうち 久慈市 岩手郡のうち裏巻町 下閉伊郡のうち田野畑村及び曽代村 九戸郡のうち野田 村及び山形村 二戸郡
	秋田県のうち 秋田市 大館市 本荘市 鹿角市 鹿角郡 北秋田郡のうち鷹巣町,比内町,合川町及 び上小幌仁村 南秋田郡のうち五城目町,昭和町,八郎湯町,毎田川町,天王町及び井 川町 由利郡のうち仁賀保町,金浦町,象湘町,岩城町及び西目町
	山形県のうち 鶴岡市 酒田市 西田川郡 飽海郡のうち遊佐町
	鶴岡市 酒田市 西田川郡 館海郡のうち遊佐町 茨城県のうち 水戸市 下妻市 ひたちなか市 東茨城郡のうち内原町 西茨城郡のうち友部町及び岩 間町 新治郡のうち八郷町 真壁郡のうち明野町及び真壁町 結城郡 猿島郡のうち五
	霞町、猿島町及び境町 埼玉県のうち
	川越市 大宮市 所沢市 狭山市 上尾市 与野市 入間市 橋川市 久喜市 富士見 市 上福岡市 運田市 幸手市 北足立郡のうち伊奈町 入間郡のうち大井町及び三芳町 南崎玉郡 北墓飾郡のうち乗橋町 警宮町及び杉戸町
	東京都のうち 八王子市 立川市 昭島市 日野市 東村山市 福生市 東大和市 武蔵村山市 羽村 市 あきる野市 西多摩郡のうち瑞穂町 神奈川県のうち
	足柄上部のうち山北町 津久井部のうち津久井町,相模湖町及び藤野町 新潟県のうち
	制制的では、 両津市 佐渡郡 岩船郡のうち山北町及び粟島浦村 福井県のうち
	無対策のプラ 教質市 小浜市 三方郡 達敷郡 大飯郡 山製県のうち
	富士吉田市 南巨摩郡のうち南部町及び富沢町 南都留郡のうち秋山村, 道志村, 忍野村, 山中湖村及び鳴沢村
	総草県のうち 多治見市 関市 美濃市 美濃加茂市 各務原市 可見市 揖斐郡のうち縣條村及び坂 内村本巣郡のうち根尾村 山県郡 武儀郡のうち洞戸村及び武芸川町 加茂郡のうち坂 被町及び宮加町
	静岡県のうち
	市 湖西市 富士郡 庵原郡 志太郡 横原郡のうち御前崎町,相良町,横原町,吉田 町及び金谷町,小笠郡 磐田郡のうち浅羽町,福田町,竜洋町及び豊田町 浜名郡 引 佐郡のうち細江町及び三ヶ日町
	愛知県のうち 豊橋市 瀬戸市 春日井市 豊川市 豊田市 小牧市 犬山市 尾張旭市 日進市 要 知部丹羽郡 額田郡のうち額田町 宝飯郡 西加茂郡のうち三好町
	滋賀県のうち 大津市 草津市 守山市 滋賀郡 栗太郡 伊香郡 高島郡 京都府
(2)	大阪府のうち 大阪府のうち 高槻市 牧方市 八尾市 寝屋川市 大東市 柏原市 東大阪市 四條畷市 交野市 三島郡 南河内郡のうち太子町、河南町及び千里赤阪村
	兵庫県のうち 姫路市 相生市 豊岡市 龍野市 赤穂市 西脇市 加西市 篠山市 多可郡 飾磨郡 神崎郡 揖侯郡 赤穂郡 宍粟郡 城崎郡 出石郡 美方郡 養父郡 朝来郡 氷上郡
	奈良県のうち 奈良市 大和高田氏 大和部山市 天理市 橿原市 桜井市 御所市 生駒市 番芝市 添上郡 山辺郡 生駒郡 磯城郡 宇陀郡のうち大宇陀町,発田野町,機原町及び室生
	添工的 山辺的 生物部 破機師 手形のりつち大手形可,鬼田野可,像原可及び至生 村 高市部 北葛城部 鳥取県のうち
	馬取市 石美都 八頭郡のうち郡家町,船岡町,八東町及び若桜町 島根県のうち
	金田市 美濃都のうち匹見町 鹿足都のうち日原町 隠岐郡 岡山県のうち
	岡山東のフラ 岡山市 倉敷市 玉野市 笠岡市 備前市 和気郡のうち日生町 邑久郡 児島郡 都 淫郡浅口郡 広島県のうち
	広島市 竹原市 三原市 尾道市 福山市 東広島市 安芸郡のうち府中町 佐伯郡の うち湯来町及び吉和村 山県郡のうち筒質村 賀茂郡のうち河内町 豊田郡のうち本郷 町 御瀬郡のうち向島町 沼隈郡
	福岡県のうち 山田市 甘木市 八女市 豊前市 小郡市 嘉穂郡のうち佳川町,稲葉町,碓井町及び 嘉穂町 斡食部 浮羽郡 三井郡 八女郡 田川郡のうち添田町,川崎町,大任町及び 赤村 京都郡のうち犀川町 築上郡
	が村 京都町のフラ原川町 美上郎 熊本県のうち 山鹿市 製池市 玉名市のうち菊水町,三加和町及び南関町 鹿本郡 菊池郡 阿蘇郡 のうち一の宮町 阿蘇町,産山村、波野村,蘇陽町,高森町,白水村,久木野村,長陽
	村及び西原村 大分条のうち 大分布 別府市 中津市 日田市 佐伯市 臼杵市 津久見市 竹田市 豊後高田市
	内則 北海部郡 南海部郡 大野郡 直人郡 トモ郡 宇佐郡 富岡県のうち
	西臼杵郡のち高千穂町及び日之影町 東臼杵郡のうち北川町

30	(3)	北海道のうち 国際市 区小改市 根室市 登別市 伊達市 松前都 上端都 亀田郡 茅部	34	(4)	窓知県からら (報名手、長回郡 土台部のうち線村、土佐山村及び土役町 吾川郡のうち伊野町、吾川 村及び毛北村、高四郡のうち佐川町、越町町、横原町、大野見村、東井野村、薫山村 (工学村板び日本村 徳多都のうちた江町、大門木村、西大佐村板び上原村 最越県のうち 織江市、南松は海郡のうち憲江町、五之浦町、三井楽町、統御町及び奈留町 宮崎県のうち郡は市 日前市 小林市 無限市 えびの市 宮崎郡 南那珂郡 北端県郡 西端県都のうち高郎町及び研究町 東端県郡 別以島県のうち 川内市 阿久県市 出水市 大口市 国分市 豊児島郡のうち吉田町 随摩郡のうち機 設門、泉東京、東郷町、宮之城町、韓田町、保摩町及び都各部町 出水郡 伊佐郡 始 長郡 観歌のうち 総子市 輸山市 木芝本市 茂原市 東金市 八日市場市 旭市 暦浦市 市原市 明、成東町、建石村、松原原及「校理丁」 長土郡 田田郡 東京都のうち 北京都 12年代 松原原及「校理丁」 長土郡 田田郡 東京都のうち 北京町 12年代 松原原及「校理丁」 長土郡 田田郡 東京都のうち 北村 12年代 松原原及「校理丁」 長土郡 田田郡 東京都のうち、総財、北田郡、区域で町、全地市 大田町 18日	36
		及び質技材 田方路 襲撃器 受到側の55 受到側の55 受到側の75 中 常滑市 江崎市 尾筒市 福沢市 東海市 大府市 知多市 知立市 高泉市 え 高泉市 支 高泉市 支 温泉 高泉市 支 温泉 高泉市 大原市 高泉市 大原市 高泉市 大原市 高泉市 大原市 知多市 高泉市 大原市 知多市 高泉市 大原市 知多市 知多市 (東京市 大原市 大原市 大原市 大原市 大原市 大原市 大原市 大原市 大原市 大原			高知市 安芸市 南国市 土化市 深崎市 中村市 土佐清水市 安芸都のうち馬路村 及び芸芸村 美景都 吾川部のうち毎野町 高月部のうち中土佐町及び翌川 場参郡 のうち佐賀可及び大戸町 場帯 鹿児島県のうち 鹿児島県のうち 鹿児島市 鹿寿市 本木野市 垂水市 鹿児島郡のうち毎日町 肝償郡のうち毎日町, 東南泉町,高山町,各平町,内之都町及び火間占町 日瀬郡のうち市来町,東市未町, 伊集町町,松元町,都山郎,日吉町及び吹上町	
		大上都 攻田部 東汽井部 大阪府の95 大阪府 明市 洋和田市 豊中市 池田市 吹田市 泉大津市 貝塚市 守口市 茨木 市 泉佐野市 富田林市 河内長野市 松宮市 和泉市 東南市 羽泉野市 門真市 摂津市 高石市 蘇井寺市 泉南市 大阪安上市 南南市 豊松野 泉北都 泉市郡		(6)	審戸市 安嘉朝のうち東洋町,奈半利町,田野町,安田町及び北川村 鹿児島県のうち 松崎市 指宿市 加世田市 西之表市 拇宿郡 川辺郡 日園郡のうち金峰町 薩摩郡 のうち里村、上衛村、下衛村及び鹿島村 肝眞郡のうち根占町,田代町及び佐多町	40
32		南河内郡のうち美原町 天健県のうち 神戸市 尼崎市 明石市 西宮市 洲本市 芦屋市 伊丹市 加古川市 宝塚市 三木 市 高砂市 川西市 小野市 三田市 川辺郡 美嚢郡 加東郡 加古郡 津名郡 三		(7)	東京都のうち 八丈町 青ヶ島村 小笠原村 歴史島県のうち 版手都のうち中種子可及び南種子町	42
-		原郡 奈良市のうち 五條市 吉野郡 宇陀郡のうち曽爾村及び御杖村	Ш	(8)	鹿児島県のうち 鹿児島都のうち三島村 熊手部のうち上屋久町及び屋久町	44
		五成市 日本市 子代前のノラ目が行列の日本代刊 和歌山県 島根県のうち 鹿足部のうち津和野町、柿木村及び六日市町 広島県のうち		(9)	鹿児島県のうち 名瀬市 鹿児島郡のうち十島村 大島郡 沖縄県	46
		第二 区島市 大竹市 廿日市市 安芸郡のうち海田町、熊野町、坂町、江田島町、音戸町、倉橋町、下溝川町及び溝川町 佐伯郡のうち大野町、佐伯町、宮島町、能美町、沖美町及び木村町 寛茂郡の5忠瀬町 豊田郡のうち安芸津町、安浦町、川尻町、豊浜町、豊町、大崎町、東野町、木江町及び瀬戸田町				
		山口県 徳島県のうち 三好都のうち三野町, 三好町, 池田町及び山城町 各川県 愛媛県				
		高知県のうち 土佐郡のうち大川村及び本川村 吾川郡のうち池田町 福岡県のうち 北九州市 福岡市 大牟田市 久留米市 直方市 飯塚市 田川市 柳川市 筑後市 大川市 行様市 中間市 筑架野市 春日市 大野城市 宗像市 大宰府市 前原市				
		古賀市 筑紫都 糟屋部 宗像部 遠賀部 鞍手部 嘉榜郡のうち筑穂町, 穂波町, 庄 内町及び浦田町 糸島暦 三瀬郡 山門郡 三池郡 田川郡のうち香春町, 金田町, 糸 田田町, 赤池町及び方城町 京都郡のうち苅田町, 勝山町及び豊津町 佐賀県				
		長崎県のうち 長崎市 佐世保市 島原市 縁早市 大村市 平戸市 松浦市 西彼杵郡 東彼杵郡 北高来郡 南高来郡 北松浦郡 南松浦郡のうち若松町,上五島町,新魚目町,有川町 及び奈良郡町 壱岐郡 下県郡 上県郡 除本県のうち				
		施本市 八代市 人吉市 荒尾市 水保市 玉名市 本渡市 牛灌市 宇土市 宇土郡 下益城郡 五名部の今5位門門,横島町,天水町,玉東町及び長洲町 上益城郡 八代 郡 輩北郡 球磨郡 天草郡 安徽県の六ち				
		延岡市 日向市 西都市 西緒県郡のうち須木村 児湯郡 東臼杵郡のうち門川町,東 郷町,南郷村,西郷村,北郷村,北方町,北浦町,諸塚村及び椎葉村 西臼杵郡のうち 五ヶ瀬町				

(4)	内容開発器 古字都 素質網のうち 最高のうち神経可及び波域町 行方器のうち中継可及び港来町 千賞市 化原油 配出市 任食市 習主野市 四級油市 八街市 印第部のうち酒々井 町 富里町、印筒柱 大型井板 江東町 香取都 山武都のうち山武町及び至山町 特別開発のうち 開発のうち 田市 質茂剤のうち栗伊町、河津町及び衛伊田町 被集前・選子市 三浦市 三浦郡 勝川県のうち 田市 質茂剤のうち栗伊町、河津町及び衛伊田町 接集前・選子市 三浦市 三浦郡 接集前・選子市 三浦市 三浦郡 移馬のうち田市 賀茂剤のうち栗伊町、河津町及び衛伊田町 接集前・海門市 小島市 同南市 勝浦郡 名東郡 2日間 1000 万名賀川町 及び羽ノ浦町 板野郎 門窓郡 海林郡 美馬郡 三分郡のうち井川町、三加西町東 祖治山村及び海村 最初間のうち町 東北部山 大田町	36
(5)	接子市 銀山市 大東連市 茂原市 東金市 八日市場市 旭市 勝浦市 市原市 鴨川市港市 高東市 南海市 南海市 海油市 上北市 医器 山北部の25大綱白里町,九十九里 町,成東町,張宮村,松岡町及び横之町 長生郡 美陽郡 安原郡 大京都の75 大島町 利泉村 新島村 神洋泉村 生宅村 御産島村 機能の20 大島町 地名美国 大田町 地名美国 大田町 大学社 地田町 地名美国 大田町 大学社 地田町 大学社 地田町	38
(6)	高知県のうち 室戸市 安装部のうち東洋町,奈半利町,田野町,安田町及び北川村 歴児島県のうち 技術市 指宿市 加世田市 西之表市 拇信部 川辺郡 日重都のうち金峰町 薩摩郡 のうち里札,上編村,下衛村及び鹿島村 肝偏郡のうち根合町,田代町及び佐多町	40
(7)	東京都のうち ハ丈町 青ヶ島村 小笠原村 鹿児島保のうち 熊手都のうち中種子町及び南種子町	42
(8)	鹿児島県のうち 鹿児島郡のうち三島村 熊手郡のうち上屋久町及び屋久町	44
(9)	鹿児島県のうち 名瀬市 鹿児島郡のうち十島村 大島郡 沖編県	46

CLP-VII(大地震対応型)の設置可能なフェンス高さと見付面積率

地表面粗度区分 I の設置可能なフェンス高さ 地表面粗度区分 II の設置可能なフェンス高さ

風速見付率	30 m/s	32 m/s	34 m/s	36 m/s	38 m/s	風速見付率	30 m/s	32 m/s	34 m/s	36 m/s	38 m/s
20%以下	2.0	2.0	1.9	1.7	1.5	20%以下	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
25%以下	1.9	1.7	1.5	1.3	1.2	25%以下	2.0	2.0	2.0	2.0	1.8
30%以下	1.6	1.4	1.2	1.1	1.0	30%以下	2.0	2.0	1.9	1.7	1.5
35%以下	1.4	1.2	1.1	0.9	0.8	35%以下	2.0	1.8	1.6	1.4	1.3
40%以下	1.2	1.0	0.9	0.8	0.7	40%以下	1.8	1.6	1.4	1.2	1.1
45%以下	1.1	0.9	0.8	0.7	0.6	45%以下	1.6	1.4	1.2	1.1	1.0
50%以下	0.9	0.8	0.7	0.6	0.6	50%以下	1.4	1.3	1.1	1.0	0.9
55%以下	0.9	0.7	0.7	0.6	0.5	55%以下	1.3	1.1	1.0	0.9	0.8
60%以下	0.8	0.7	0.6	0.5	0.5	60%以下	1.2	1.0	0.9	0.8	0.7
65%以下	0.7	0.6	0.5	0.5	0.4	65%以下	1.1	1.0	0.8	0.7	0.7
70%以下	0.7	0.6	0.5	0.4	0.4	70%以下	1.0	0.9	0.8	0.7	0.6
75%以下	0.6	0.5	0.5	0.4	0.4	75%以下	0.9	0.8	0.7	0.6	0.6
80%以下	0.6	0.5	0.4	0.4	0.3	80%以下	0.9	0.8	0.7	0.6	0.5
85%以下	0.5	0.5	0.4	0.4	0.3	85%以下	0.8	0.7	0.6	0.6	0.5
90%以下	0.5	0.4	0.4	0.3	0.3	90%以下	0.8	0.7	0.6	0.5	0.5
95%以下	0.5	0.4	0.4	0.3	0.3	95%以下	0.7	0.6	0.6	0.5	0.4
100%以下	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	100%以下	0.7	0.6	0.5	0.5	0.4

地表面粗度区分Ⅲの設置可能なフェンス高さ 地表面粗度区分Ⅳの設置可能なフェンス高さ

風速見付率	30 m/s	32 m/s	34 m/s	36 m/s	38 m/s	風速見付率	30 m/s	32 m/s	34 m/s	36 m/s	38 m/s
20%以下	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	20%以下	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
25%以下	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	25%以下	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
30%以下	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	30%以下	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
35%以下	2.0	2.0	2.0	2.0	1.9	35%以下	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
40%以下	2.0	2.0	2.0	1.9	1.7	40%以下	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
45%以下	2.0	2.0	1.9	1.7	1.5	45%以下	2.0	2.0	2.0	1.9	1.7
50%以下	2.0	1.9	1.7	1.5	1.3	50%以下	2.0	2.0	2.0	1.7	1.6
55%以下	2.0	1.7	1.5	1.3	1.2	55%以下	2.0	2.0	1.8	1.6	1.4
60%以下	1.8	1.6	1.4	1.2	1.1	60%以下	2.0	1.8	1.6	1.4	1.3
65%以下	1.7	1.4	1.3	1.1	1.0	65%以下	1.9	1.7	1.5	1.3	1.2
70%以下	1.5	1.3	1.2	1.0	0.9	70%以下	1.8	1.6	1.4	1.2	1.1
75%以下	1.4	1.2	1.1	1.0	0.9	75%以下	1.7	1.5	1.3	1.1	1.0
80%以下	1.3	1.2	1.0	0.9	0.8	80%以下	1.6	1.4	1.2	1.1	1.0
85%以下	1.3	1.1	1.0	0.9	0.8	85%以下	1.5	1.3	1.1	1.0	0.9
90%以下	1.2	1.0	0.9	0.8	0.7	90%以下	1.4	1.2	1.1	0.9	0.8
95%以下	1.1	1.0	0.9	0.8	0.7	95%以下	1.3	1.1	1.0	0.9	0.8
100%以下	1.1	0.9	0.8	0.7	0.6	100%以下	1.2	1.1	1.0	0.8	0.8